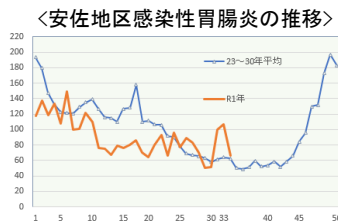
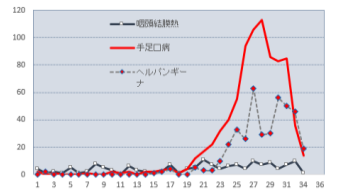


安佐医師会サーベイランス週報 第34週 令和1年8月19日(月)～令和1年8月25日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント
	定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	26		
	対象人口	75,115	83,974	38,432	43,294	57,093	63,914	19,542	8,518	389,882		
	定点数当り人口	18,779	16,795	19,216	21,647	14,273	12,783	9,771	8,518			
1 R Sウイルス感染症	6					4			1	11	↑	<p>【第34週 安佐圏域での各種感染症の動向】 ◇流行していた疾患が軒並み減少 総報告数半減！ 一方、RS増加、インフルエンザA型2例報告</p> <p>1. RSウイルス感染症:4→11件・・・増加 2. 咽頭結膜熱:10(32,33週)→1件 3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:35→8件 減少 4. 感染性胃腸炎:107→66件 減少 5. 手足口病:36→14件 減少 6. 伝染性紅斑:5→0件 7. ヘルパンギーナ:46→19件 減少 8. 流行性耳下腺炎:4→4件 9. インフルエンザ:A型2件・・・高陽 10. 流行性角結膜炎:6→1件</p> <p>＜安佐地区感染性胃腸炎の推移＞ </p> <p>・減少! ・ノロ90%、サボ10% (ISRAの最新のデータより)</p> <p>＜安佐地区3大夏風邪の推移＞ </p> <p>・3感染症とも急速に減少!</p> <p>＜コンゴで流行が続くエボラ出血熱に対し緊急事態宣言＞ ・・WHO 7月18日 コンゴ共和国で昨年8月以降、2500人以上が感染し内1600人が死亡。 史上2番目に当たる深刻な事態 国は、18日各検査所自治体に「・・・への協力依頼について」を発出した</p>
2 咽頭結膜熱					1					1	↓	
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5		1		2				8	↓	
4 感染性胃腸炎	24	8	2		8	18	1	5		66	↓	
5 水痘		2	1			1				4	↓	
6 手足口病	2	4	4	2	1	1				14	↓	
7 伝染性紅斑												
8 突発性発しん												
9 百日せき												
10 ヘルパンギーナ	3	2	1	2	7	4				19	↓	
11 流行性耳下腺炎	2		1			1				4	→	
12-Aインフルエンザ(A型)						2				2	↑	
12-Bインフルエンザ(B型)												
13 急性出血性結膜炎												
14 流行性角結膜炎		1								1	↓	
15 麻疹												
16 風しん												
17 MCLS(川崎病)												
18 髄膜炎(細菌性)												
19 髄膜炎(無菌性)												
20 マイコプラズマ肺炎	1									1	↑	
21 クラミジア肺炎												
22 その他												
合計	38	22	9	5	17	33	1	5	1	131		

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言「イットコール」安佐医師会 873-1840にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風しん、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

＜コンゴで流行が続くエボラ出血熱に対し緊急事態宣言＞
 ・・WHO 7月18日
 コンゴ共和国で昨年8月以降、2500人以上が感染し内1600人が死亡。
 史上2番目に当たる深刻な事態
 国は、18日各検査所自治体に「・・・への協力依頼について」を発出した